

# 平成2年度 和歌山県文化奨励賞

すぎ たに しょう こ  
杉 谷 昭 子

住 所：東京都葛飾区

出 身 地：和歌山県和歌山市

生 年：昭和18年

## ■主な表彰歴

昭和57年度 和歌山市文化奨励賞

## ◎業績及び経歴

3歳でピアノを始め、8歳でデビューリサイタルを行う。矢田瑛子氏に師事し、昭和34年全日本学生音楽コンクールに入賞。同36年桐蔭高校卒業後、東京芸術大学ピアノ科に進み、井口秋子氏に師事する。

昭和40年に同大学卒業後、西ドイツに留学。クラウス、ホフマン氏らに師事、昭和46年にエッセン・folkヴァング・コンクール優勝、同47年に第19回マリア・カナルズ国際音楽コンクール第2位、同53年第24回ヴィオッティ国際音楽コンクール銀賞特別賞を受賞するなど注目を集める。

昭和46年に初のレコーディングの後、同51年西独ケルン大学において、演奏家資格国家試験でプリミエ・プリ(1等賞)を満場一致で獲得し、ピアニストとしてデビュー。ロンドンのウィグモア・ホールでのデビューリサイタルを皮切りにヨーロッパ、日本、和歌山で演奏活動を開始し、絶賛を得る。

その後も、新ロンドン交響楽団、北ドイツ交響楽団、NHK交響楽団などとの協演やリサイタル活動などを国内外で活発に行い、好評を博す。

特に、ブラームスの演奏家として知られ、昭和59年には、ブラームス・ピアノ独奏曲全集レコードを世界で3人目に、女性として初めて完成し、また、各国でブラームスの演奏活動を行っている。

最近では、磨きあげた新たな演奏方法のリサイタルが聴衆を魅了するなど、日本を代表するピアニストとして、すぐれた文化の創造に寄与した功績は大きい。